

活動報告

団体名	ロハス南阿蘇たすけあい
活動名	平成30年7月豪雨被災者のための災害復旧初動ボランティア活動
活動期間	2018年7月～2018年11月
活動の成果	<p>小屋浦地区の56軒の住宅75名の方が主な支援対象先になりました。今回発生した土砂の流出は過去に例が無いほどの量であり、住宅の2階部分まで土砂の流入を認めました。道路部分も相当な土砂で埋め尽くされており、やはり重機の機械力が無ければ支援は進まなかったと思っています。具体的にはとにかく土砂を撤去し続けました。</p> <p>ボランティアバスなども運営して、ボランティアを積極的に呼び込み支援を継続しました。支援の中で自宅への早期帰宅の実現と家財道具の搬出が可能なようにアプローチを行いました。</p> <p>もともと私たち自身も自然災害の被災者であることから、今回の被災者に対しても生活再建の為に自立の精神を多少養えたのではないかと、認識はあります。必ずこの災害の記憶の風化してしまい、関心が薄れてくるので、そうなって嘆くのではなく自立して問題解決にあたることの大切さを我々の活動を見て少しでも感じて頂けたかと思えます。それは今回の被災者だけではなく、多くのメディアにも取り上げて頂いた分、日本各地にも届けられたと感じています。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>この度は当団体の活動にご理解を賜り、また寄付金を賜りまして本当に有難う御座います。</p> <p>当団体は重機を用いたボランティア活動を中心に行っており、活動には多額の資金が必要になります。特に2018年は災害が多発しており、活動場所も全国に展開していたことから多額の資金が必要となっていました。</p> <p>熊本地震で多くの人に支援をして頂き、少しでも私たちがお返しをしたいという思いからこのような活動を始めました。</p> <p>日本は災害大国と言われておりますが、どこで災害が発生しても24時間以内に駆けつけて、機械力を活かした支援を展開していきます。</p> <p>今後の活動においても、皆様のご理解とご協力なしには継続が難しいという側面はありますが、活動の詳細はFacebookを中心に発信させて頂き、被災者の復興に資することを約束させて頂きます。</p> <p>この度は当団体の活動にご理解とご協力、ご支援を賜りまして本当に有難う御座いました。</p>

(活動のようす)

